【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和7年4月7日(2025.4.7)

【公開番号】特開2022-176370(P2022-176370A)
【公開日】令和4年11月25日(2022.11.25)
【年通号数】公開公報(特許)2022-217
【出願番号】特願2022-162154(P2022-162154)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　8/362(2006.01)
Ａ６１Ｋ　8/46(2006.01)
Ａ６１Ｑ　5/00(2006.01)
Ａ６１Ｑ　5/02(2006.01)
Ａ６１Ｑ　5/12(2006.01)
Ａ６１Ｑ　5/06(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　8/362
Ａ６１Ｋ　8/46
Ａ６１Ｑ　5/00
Ａ６１Ｑ　5/02
Ａ６１Ｑ　5/12
Ａ６１Ｑ　5/06

【手続補正書】
【提出日】令和7年3月26日(2025.3.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ジカルボン酸とチオール類とからなる複合体であり、
前記ジカルボン酸が、ムコン酸、アジピン酸、オクテン二酸及び化粧品として許容可能なそれらの塩からなる群から選ばれる一又は複数であり、
前記チオール類が、アミノチオール類、及び化粧品として許容可能なそれらの塩からなる群から選ばれる一又は複数である、複合体。
【請求項２】
前記ジカルボン酸が、ムコン酸、又は化粧品として許容可能なその塩である、請求項１に記載の複合体。
【請求項３】
前記チオール類が、システアミン、又は化粧品として許容可能なその塩である、請求項１又は２に記載の複合体。
【請求項４】
前記ジカルボン酸と前記チオール類とを、チオール類／ジカルボン酸＝０．０１～１００のモル比で含む請求項１～３いずれか一項に記載の複合体。
【請求項５】
前記モル比が、チオール類／ジカルボン酸＝１以上である、請求項４に記載の複合体。
【請求項６】
請求項１～５いずれか一項に記載の複合体を有効成分とする、毛髪処理用組成物。

【請求項７】
請求項１～５いずれか一項に記載の複合体を含有する、縮毛矯正剤、染色若しくは脱色時の髪質改善剤、ウェーブパーマ若しくはストレートパーマ時の髪質改善剤、シャンプー剤、ヘアトリートメント剤、及び／又は整髪剤。
【請求項８】
ウェーブパーマ又はストレートパーマ用第１剤又は第２剤ではない、請求項７に記載のウェーブパーマ又はストレートパーマ時の髪質改善剤。
【請求項９】
請求項１～５いずれか一項に記載の複合体を毛髪に塗布する塗布ステップと、
前記塗布ステップの後で、毛髪を加温する加温ステップと、を少なくとも含む、毛髪処理方法。
【請求項１０】
前記加温ステップが、毛髪の表面温度が40～180℃となるように加温するステップである、
請求項９に記載の毛髪処理方法。
【請求項１１】
前記加温ステップが、毛髪の表面温度が40～60℃となるように加温するステップである、
請求項９に記載の毛髪処理方法。
【請求項１２】
前記複合体を、ウェーブパーマ又はストレートパーマ用第１剤又は第２剤として毛髪に塗布する方法を除く、請求項９～１１いずれか一項に記載の毛髪処理方法。
【請求項１３】
前記毛髪処理方法が、縮毛矯正、染色及び脱色時の髪質改善、ウェーブパーマ及びストレートパーマ時の髪質改善、シャンプー、並びにヘアトリートメントからなる群より選ばれる１又は複数を目的とする、請求項９～１２いずれか一項に記載の毛髪処理方法。